

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業所番号 | 2470700606 |
| 法人名 | 有限会社 サンテ |
| 事業所名 | グループホーム やまぶき |
| 所在地 (電話番号) | 松阪市駅部田473番地 (電話) 0598-26-2357 |
| 評価機関名 | 三重県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 津市桜橋2丁目131 |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 2 月 15 日(金) |

【情報提供票より】 (H20年1月25日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 15 年 9 月 2 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 18 人 | 常勤 12 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 8 人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 48,000 円 | その他の経費(月額) | 26,000 円 |
| 敷 金 | 有(48,000 円) 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 450 円 |
| | 夕食 | 450 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4) 利用者の概要(1月 25日現在)

| | | | |
|-------|------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 1 名 | 女性 17 名 |
| 要介護1 | 5 名 | 要介護2 | 3 名 |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 5 名 |
| 要介護5 | 名 | 要支援2 | 名 |
| 年齢 平均 | 84 歳 | 最低 70 歳 | 最高 96 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------|
| 協力医療機関名 | 南勢病院 |
|---------|------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者の身体低下を感じ、不安が生じるご家族にとり介護福祉士、看護師と有資格者が多い職員のもとで介護されている事業所である。利用者の落ち着き、穏やかな姿へとつながっている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題「市町に対し事業所を理解、支援してもらえよう働きは行われているが市町事業を受け入れるまでには至っていない」その後においても市町事業を受け入れるまでには至っていないが、引き続き市町(担当者)に事業所の現状を伝えると共に諸情報を得るなど連携しながらサービスの向上につなげることを期待する。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員一同で取り組まれている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>去る2月5日 第5回を開催、参加者からの意見提案には職員のミーティングなどで再度検討されサービスに生かしている。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族の面会時には管理者、ケアマネージャーがお会いして意見、苦情など聞かれている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会への加入もされ住民の通りすがりの親子づれを事業所へ招き、入居者と交流している。</p> |

2. 評価報告書

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 理念には地域の中で適切・快適・最適な介護を選択でき、その人らしい暮らしを保てるケアに取り組んでいる。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員全員が理念を共有し、利用者一人ひとりに声掛けされ理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会にも加入し地域活動にも参加されている。地域の方々が通りがかられている時に声掛けされ、事業所へに立ち寄りを勧め入居者と交流することに努めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価、外部評価の意義はよく理解されている。評価する事によりまた全職員で再認識されている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は既に5回(本年2月5日)開催している。当初は報告事項が多かったが、回を重ねるごとに参加者からの意見・提案もあり介護に活かしつつある。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|--|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 事業所現場の運営や課題解決のためには市町の理解や支援の必要性は充分理解しているが、情報の入手現場の実情等を積極的に伝えるまでには至っていない。 | ○ | 機会をとらえ市町(担当者)に事業所の現状を伝えると共に諸情報を得るなど関係を深め、連携しながらサービスの向上に繋げることを期待する。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | やまぶき新聞発行時に金銭出納や事業所での健康状態など定期的に個々にあわせた報告をしている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時にはご家族が意見、要望、苦情が表せるように施設長、ケアマネージャーが面談され聞き出し運営に反映させている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員移動、離職は利用者へのダメージを考え、防ぐ配慮をしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 母体法人での研修は同じ内容で2回催され、全職員が受講できるよう工夫している。去年は介護福祉士を3名が取得されている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 三重県グループホーム協会に入会され、他事業所との交流を通じて相互訪問等の活動を通じてサービスの質を向上させている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者によっては家族を相談の上徐々に馴染み、納得して利用できるよう一週間程度の体験入居を実施している。(体験入居申込書を使用している。) | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者を人生の先輩として一緒に過ごしながらかけて頂いたり、学んだり支えあう関係を築いている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 生活歴を把握され、よりそう介護の中から希望・意向の把握に努め話し合い、その人らしい暮らしになるよう努力している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | その人らしさを抽出し、ケアマネージャー計画担当を中心に全職員で介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 三か月に1回の見直し評価をされ、ご家族とも話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 他施設に配偶者が入所されている利用者を面会に職員が付き添っていくなど柔軟な支援をしている。医療連携体制が加算の認可も受けている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者のかかりつけ医や近隣医療と事業所との良い関係を築かれ、適切な医療が受けられる支援をしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 現在、該当者はいないが出来るだけ早い段階から本人、家族、医師とも相談しながら、できる限りのサポートをする事を全職員で話し合っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 本人のプライバシーを傷つけないよう一人ひとりに即した介護をされ、個人情報については的確に扱われている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一日の流れの決まりはあるが、一人ひとりのその日の体調・気分などを考えて柔軟な支援をしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食材の下ごしらえ、食事の後片付けなど役割としてできる人に職員と一緒に楽しくしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 月・木曜日、火・金曜日とコースを作られ午後に希望やタイミングに合わせた支援をしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者に経験や趣味を活かしてもらえるような支援をしている。(食事の後片付け・散歩・買物は勿論、カラオケ・計算・ぬり絵・写経等)中には昼食前に般若心経を唱える利用者も見られた。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 外食・面会に来られないご家族へ利用者が家庭訪問をされるのに付き添う、その日の希望に沿って戸外に出かける支援をしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 全ての職員はいかなる場所への鍵をかけることの弊害は認識されているが、立地を考え安全面を重視し玄関のみ施錠されている。 | ○ | 安全面での確保は申すまでもないが、利用者が外に自由に出入れない閉塞感、不安をも介護者は理解し日中玄関に鍵をかけなくて済む工夫が望まれる。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回は消防署の協力による避難訓練は実施している。夜間対応マニュアル等、目につくところに表示されている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養のバランス、水分量は一日通して確保できるよう把握されている。常勤ではないが栄養士のもとで献立をしている。3月から管理栄養士となられる。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間には雛壇が飾られ、春を待つ利用者の穏やかな姿となり居心地良く過ごせる工夫がされている。廊下には行事、催しの写真が飾ってある。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れたもの、趣味の品が飾られ、本人が居心地良く過ごせる工夫がされている。 | | |